





教材教具説明シート

名称	たまごで ばあ		
関係する教科等	幼稚部：乳幼児教育相談	区分・項目	
使用対象	0、1、2 歳児 人とのやりとりをしながら、自然な発声を促す		
使用目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「たまごの歌」に合わせて、動きの模倣をしたり、声を出したりする。 ・楽しくやりとりしながら、話し手に注目する。手話の模倣をする。 ・「たまごの開閉」や「カードを出す、しまう」動きに合わせて発声を促す。 ・「誰？」 カード（顔写真）と実物（本人）とのマッチング、指差し ・「何色？」 色のマッチング ・親子の関わりを増やす。「どれかな」「○○だね」などやりとりをする。 		
活用時の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>たまごの中に「自分」「先生」「ママ」の写真。たまごと同じ色のひよこ。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>「きいろを ちょうだい」先生をよく見て、手話の模倣</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>たまごから出した自分の顔写真をはる。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ママも一緒にひよこを同じ色のたまごに入れる。</p> </div> </div>		
効果・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・無理のない自然な発声や手話の模倣を促すことができた。 ・ひよこの顔（表情）の種類を増やしていくことで、興味をもって活動することができている。 		